

「社会に貢献する女性」を訪ねて

Vol.08

2015.07.28

水戸女子高校は、長い歴史の中で学校の仕組みや制服などが変化してきました。しかし、「社会に貢献する女性の育成」という建学精神に基づく指導は変わっていません。

それでは、水戸女子高校の卒業生がどのように社会で頑張っているのでしょうか？卒業生にインタビューをしてみました。

第8回は小澤恵美子（旧姓：田山）さんです。小澤さんは平成14年度に入学し、普通科を選択しました。卒業後は茨城女子短期大学保育科に進学しました。現在は社会福祉法人寿広福祉社会古河すぐく保育園に勤務をされています。

インタビュアー：生徒募集強化委員会 西内豊人

先生のアドバイスが後押しに。

今日はインタビューを受けていただきありがとうございます。早速ですが、水戸女子高校を選んだ理由は何ですか？

三姉妹ということもあり、家族に女性が多い環境で育ったので、「女子高」という環境ならばのびのび学校生活が送れるかなと思い、水戸女子高校を選びました。

水戸女子高校での高校生活は、実際どうでしたか？

毎日がとても楽しかったです！自分を出すことも出来ましたし、友達もたくさん出来ました。土曜日にイベントが多く*1、そのイベントも楽しかったです。

充実した高校生活を送れたのはうれしい限りです。小澤さんは高校卒業後に茨城女子短期大学保育科に進学します。もともと、保育士が夢だったのですか？

保育士は小さい頃からの夢だったのですが、中学校時代に「自分には無理かな」とあきらめかけていました。でも、高校1年の担任の先生から進学先などの色々なアドバイスを頂き、「保育士になれるかもしれない」と思い、茨城女子短期大学で保育士を目指そうと思いました。

担任の先生のアドバイスが大きかったのですね。受験に関する思い出などありますか？

歌を歌う試験があったので、早い時期から練習をしていました。すぐに行動したことが良かったと思います。

*1： 当時は毎週土曜日に特別活動などを集中的に行っていました。現在は、土曜日は特別活動と授業を実施している。



水戸女子高校でインタビューを実施しました。雰囲気は在学中と全く変わっていません。



約1時間のインタビューでしたが、保育士としての自信を感じることが出来ました。

一番頑張った2年間。

茨城女子短期大学での2年間はどうでしたか?

この2年間は、今までの中で一番頑張りましたね(笑) 特に実習が厳しかったですね。実習先では厳しいことを言われる時もあるので、辛い時もありました。ただ、今やっている勉強がなぜ必要なのかということもよく分かり、「将来につながるから頑張ろう」という気持ちにもなりました。

実習はやっぱり大変ですね。短大卒業後の進路はすぐ決まったのですか?

実は、最初は幼稚園勤務を希望していました。実習でも極力大きな子の面倒を見るようにしていました。ただ、地元に「行きたい」という幼稚園がなかったので、保育園でもいいかなと思い、急遽保育園勤務に切り替えました。慌てた部分もありましたが、それでもスムーズに勤務先が決まりました。

「保育士」という仕事。

20歳から保育士をなされているわけですが、何か心がけていることはありますか?

最初の勤務先には6年間お世話になりました*2。この6年間で考え方を変えることが出来ました。保育士として働き始めた頃は完璧を求めたり、理想を追いかけたりしていたため、うまくいかないこともあります。保育士として働いているうちに「生まれて1・2年の子に求めてどうする」と思い始め、笑顔を作ることを優先するようになりました。

なるほど。同じ教師としてよく分かります。自分もそうでした(笑)。環境って大事ですね。

今は、先生でも保育園でもいいので「大好き」って思ってもらえるように頑張っています。安全も含めて、環境を作つてあげることが大事だと思っています。

他に気を付けていたことはありますか?

例えば、先輩たちの愛情を注いでいる姿を見て「テクニックを盗む」ようにしていましたね。あとは「静かにして」と注意するときも、ただ注意をするのではなく、自分なりに色々工夫するようにしていました。

この工夫が本当に大事ですよね。今の目標はありますか?

最近、結婚をしたので、仕事と家庭を両立できるように頑張りたいです。

「見て覚える」ことが大事です!

最後に在校生にメッセージをいただけますか?

もし、保育士を目指す場合は「なんとなく」という気持ちでは目指さない方がいいと思います。そういう気持ちの人は進学しても結局は続かず、私の周りでも辞めていく人がいました。あと、仕事に就くと最初は余裕がないと思いますが、少しずつ余裕が出来てきた時に「見て覚える」・「盗む」という意識を持つと、色々学べるので実践してほしいと思います。

本日はありがとうございました。

*2: 現在の勤務先は2社目になる。

小澤さんの高校時代は旧校舎だったので、新校舎の設備にびっくりしていました。ただ、インタビューの中で「旧校舎は古かったけど、とても綺麗だったと保護者が話していた」という言葉を聞き、この精神を忘れてはいけないと痛感させられました。小澤さん、これからも保育士として頑張って下さい!応援しています。

「社会に貢献する女性」を訪ねては年3回の発行を予定しています。次回もお楽しみに。